（別添資料１）

事業所名　ぴっこりぃさらだ（児童発達支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日　R8 年 3 月 1 日

法人（事業所）理念	一人ひとりの心身の成長に寄り添い、個性を大切に育む支援				
支援方針	ストレスフリーな環境の中であらゆる体の動きを楽しく経験することことで運動機能を向上させます。お子様の発達を領域に分けて得意な領域を伸ばし、苦手な領域を専門的にサポートすることで幼児期の成長を支援していきます。				
営業時間	9 時 0 分から 11 時 0 分まで		送迎実施の有無	（あり） なし	
	主な活動	支　援　内　容			
本人支援 健康・生活	日常生活動作全般の支援　トイレトレーニング	ADL（日常生活動作）の支援を行います。おやつ食べる際の準備、片付けなどマナーを支援します			
本人支援 運動・感覚	ストレスフリー運動療育	ボールプールや滑り台、ジャングルジムやふわふわマットなど運動機能を高める遊具を配置し、職員と一緒になってごっこ遊びやサーキットトレーニングをすることで体幹を鍛え、脳と体の動きを一致させるトレーニングを行う。			
本人支援 認知・行動	個別療育（NCプログラム）	お子様の心身の発達を６つの領域別でアプローチし、認知領域、言語領域の発達を促していきます。			
本人支援 言語コミュニケーション	じゃれつきあそび	職員と友達のような関係で、体を使ったスキンシップ遊びを行い、言語、非言語のコミュニケーション能力を養います。			
本人支援 人間関係社会性	外出活動　公園遊び	公園などで外遊びを行い、自然の中で体を動かします。公共施設（児童館、遊戯施設）に遊びに行くことで社会の仕組みやルールを知り、学びの経験を積んでいきます。			
家族支援	お子さんのご家庭での様子、事業所での様子をご家族と共有し、お子さんの強みと課題に対し支援する。また、必要に応じてご家庭でのお子さんの困り事等に対し相談に対応する。		移行支援	就学へ向けお子さんに対し、事業所のみでなく保育所等での生活状況を必要に応じ情報共有し、必要な支援を行う。	
地域支援・地域連携	必要に応じて、地域の学童クラブや体育館などの環境を利用し地域交流の機会も提供する。		職員の質の向上	職員は内部・外部の研修の参加と実施	
主な行事等	・法人の事業所祭（あったかまつり）				